

〔様式2〕

平成29年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

#REF!

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「話を聞き取る」「説明文を読み取る」「文章を書く」は目標値・区の平均正答率を5～10ポイントほど上回っており定着している。しかし、「漢字を読む」「漢字を書く」は目標値は超えているが区の平均正答率に1ポイントほど下回った。「学校案内をする」という与えられた情報を読み取り質問に正対して読み取る問題に関しては目標値・区の平均正答率ともに下回っている。	5観点とも目標値・全国正答率ともにほぼ上回っている。「読むこと」の物語の人物の様子を読み取る設問と、与えられた情報を読み取り、質問に対して適切に答える設問に関してのみ目標値・全国正答率を下回っている。	「話す聞く」に関しては、大事なことを落とさないで聞いて答える設問は出来るが、「読むこと」「書くこと」と関連した文章問題の場合だと正対して解く力が弱い傾向にある。まずは問題を理解し、与えられた情報を総合的に把握する力をつけていく活動を取り入れる必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「ひき算」「3つの数の計算」「時計」「長さ・かさ」「かたち」は全体的に目標値・区の平均正答率を上回っている。「120までの数」「たし算」は目標値は上回ったが区の平均正答率には1ポイントほど下回っている。特に数の構成に関する問題文を読み取り、立式する問題の正答率が低い傾向にある。	4観点とも目標値・全国正答率ともに上回っている。「数量や図形についての技能」は区の平均正答率とほぼ同等で、他の3観点は2～5ポイントほど上回っている。	数字をあてはめて数の構成を説明したり、文章問題を読み取り式を導き出したりする問題でつまづきが見られる。知識・理解は出来ているので考える力、技能を育てていく必要がある。

〔様式2〕

平成29年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「漢字を読むこと」、「物語・説明文の内容を読むこと」、「作文」については区の平均を上回っている。一方、「話の内容を聞き取ること」、「漢字を書くこと」、「言葉の学習」は、区の平均を下回った。「折り紙のおり方を説明する」内容については、区の平均より13.1ポイントも下回っている。	「話す・聞く力」「言語についての知識・理解」は区の平均を下回った。全ての観点において、目標値は上回っているが、「話す・聞く能力」は区の平均を7.9ポイント下回っており、話したり、話を聞いて理解したりする力が低い傾向にある。	書く能力や読む力に比べて、話を聞く力、言語についての知識理解が低いことが分かる。漢字は読むことよりも書くことのほうが低い。日頃の学習活動の中で、人の話を意識して聞き、内容を理解しているか分かるようにすることが課題である。
算数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「計算のくふうをしよう」、「かけ算」、「時ごとと時間」は区の平均を下回っている。「はこの形」は区の平均と同率だが、それ以外は区の平均を上回った。	「数学的な考え方」、「数量や図形についての技能」は、区の平均を若干下回った。一方、「関心・意欲・態度」、「知識・理解」は、区の平均を上回った。	大きな数、分数、かさなどの知識理解は概ね定着しているが、文章を読み、式に表す力が弱い。また、計算ミスが見られるため、計算の復習やかけ算の正答率は低くはないが、区の平均を下回った。「時ごとと時間」は学習したときから時間が経っているため、学習内容を忘れていたのではないかと考えられる。

[様式2]

平成29年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
すべての内容において、目標値、全国平均を上回っている。特に「作文」は区平均を14%上回っている。一方「漢字を書く」「物語の内ようを読み取る」「説明文の内容を読み取る」「調べたことを発表する」については、区平均を下回っている。	5観点と目標値、全国平均を5パーセント以上上回っており、すべて70パーセント以上の正答率である。特に「書く能力」においては、区平均を12パーセント以上も上回っている。一方「読む能力」については、区平均を4%下回っており、個人差がかなり大きい。	学習の基礎はおおむね良好である。「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」は、学習の積み重ねにより定着している。しかし「読む能力」においては、書かれていることを理解したり、読み取ったことについて自分の考えを表現したりする活用力が低い傾向にある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「かけ算」「長さ・重さ」「円と球・三角形」は区の平均を5%以上上回っている。他の7項目は、区平均と同程度である。「□を使った式」「棒グラフと表」の分散は大きく、個人差が大きくなっている。	4観点とも目標値を10%以上上回っている。区平均と比較すると、「関心・意欲・態度」は4%上回っているが、他の3観点は、同程度である。「技能」「知識」の分散は小さいが、「数学的な考え方」の分散は大きく、個人差が大きくなってきている。	「技能」「知識」の定着が図れているため、多くの内容項目において、区の平均を上回ることができていると考えられる。「数学的な考え方」の正答率が低かった児童は、「□を使った式」「棒グラフと表」の正答率が低い傾向が見られた。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
内容10項目のうち、7項目の正答率は、区平均を5%以上上回っており、「風やゴムのはたらき」の正答率は区平均と同程度である。「磁石の性質」の正答率は、区平均を14%、目標値を16%下回っている。	「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」は、目標値を10%以上、区平均を6%以上上回っている。「観察・実験の技能」は区平均と同程度であるが、分散が大きく、児童による個人差が大きい。	「磁石の性質」の正答率が低かった原因として、基本的な知識の定着が低かったからだと考えられる。「観察実験の技能」の正答率の分散が大きかった原因として、温度計の使い方など実験器具の正しい使用方法についての理解が不十分であったことが考えられる。

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「物語の内容を読み取る」以外の項目では、区・全国ともに平均点を上回っている。中でも、「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を書く」「作文」においては、目標値を15ポイント近く上回っている。「物語の内容を読み取る」は、わずかではあるが唯一区平均を下回っている。	すべての観点において区・全国平均を上回っている。全体的に全国平均と比べて3～8ポイント上回っている。中でも「言語についての知識・理解・技能」「書く能力」については大幅に平均を上回っており、定着度が高いといえる。	苦手としているのは、「言葉」と「作文」である。漢字の読み書きや言葉の意味は理解しているが、修飾語がどの言葉を修飾するのかの理解は低いようである。作文では、書く能力はあるものの、必要な情報を的確に表現すること、与えられた条件を満たすことなどに課題が残る。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「安全な暮らし-火事-」の項目では、目標値は超えているものの、区平均を下回る結果となった。それ以外の項目では、区・全国ともに平均点を上回っている。特に「地図の見方」は平均点よりも8ポイントほど上回っている。	すべての観点において区・全国平均を上回っている。中でも「関心・意欲・態度」「知識・理解」は定着度が高い。「思考・判断・表現」に課題が残る。	社会的な事象の知識・理解はあり、それらを表現する力についてはある。しかし、資料を読み取って情報を整理する力が課題である。特に、複数の資料を読み取り表現することに関しては無解答も多く、解答するための糸口を見つける練習が必要である。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
目標値、区及び全国平均を10ポイント以上と大きく上回ったのは、「いろいろな形」「計算のきまり・変わり方調べ」である。他の6つの内容項目も5ポイント以上上回る結果となっている。「角の大きさ」が目標値と同ポイント、「面積」がわずかに上回る結果となっている。	4観点すべてにおいて70ポイント以上であり、区・全国平均を上回っている。特に、高かったのは「関心・意欲・態度」であった。他の観点についても上回っているが、「数量や図形についての技能」は、区平均を上回ったのが5ポイント以下だった。	算数への関心意欲が高く、内容の理解と定着につながっていると考えられる。しかし、角の大きさや面積の広さについてなど、図形に対する知識や技能が身につけていない児童が多くいる。角や面積の見当をつけたり推察して考えたりすることに課題がある。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての内容で目標値、区の平均を上回っている。「物の体積と力」「1年間の動物の様子」目標値を15ポイント以上上回った。「天気の様子」「動物の体のつくりと運動」「水のすがた」ではわずかしか目標値と区平均を上回っておらず、全国平均を下回っている。	4観点全てにおいて、目標値、区・全国平均を上回っている。「観察・実験の技能」については、目標値を10ポイント以上上回った。「自然事象に対する関心・意欲・態度」も高い。「自然事象についての知識・理解」は全国平均をわずかに1.1ポイントしか上回らなかった。	実際に実験をしたり、観察をしている内容のポイントが高いことから、技能が身に付き、理解が深まっていると考えられる。グラフから読み取ったことから、考え表現することに課題がある。自然事象に対する基礎的な知識の定着を図る必要がある。

[様式2]

平成29年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8つの内容のうち5つが目標値を5ポイント以上上回り、そのうち1つは区の平均も上回っている。情報を読み取り、内容を補って文章を書く問題では、目標値とはほぼ同程度であったが、区の平均は5ポイント以上下回った。	5観点のうち2観点(読む能力・言語についての知識)は目標値を5ポイント以上上回り、他の観点は目標値とほぼ同程度であった。区の平均と比べると、5観点全てがほぼ同程度であった。	全体的に国語の学習状況は良好である。特に物語、説明文の読み取り、漢字の読み、書きについて、高い能力を有していることが分かる。書く能力も大きな課題はないが、情報を読み取って書く能力は苦手な傾向が見られる。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
9つの内容のうち、目標値を5ポイント以上上回っているものが2つ、下回っているものが3つであった。苦手としているのは工業生産の領域で、区の平均も5ポイント以上下回った。逆によく定着しているのは情報化社会の領域である。	4観点全て目標値、区の平均と同程度であり、特に定着しているもの、そうでないものはない。しいて挙げると、関心・意欲・態度は全国平均を5ポイント下回っている。	社会科の観点から見ると学習状況は良好である。しかし、領域によって定着度に差がある。また、用語の習得は苦手な傾向が見られる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10この内容のうち1つが目標値を5ポイント以上上回り、2つが下回っている。しかし、区の平均と比べると、10こ全てがほぼ同程度であった。小数の計算、単位量当たりの大きさを苦手とし、図形はよく定着している。	4観点全て目標値、区の平均と同程度であり、特に定着しているもの、そうでないものはない。全国平均と比べても、4観点とも全て同程度である。	算数の観点から見ると学習状況は良好である。しかし、小数の計算、単位量当たりの大きさの定着度に課題が見られる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10この内容のうち2つが目標値を5ポイント以上上回り、6つが下回っている。そのうち3つは区の平均も5ポイント以上下回っている。特に、実験の手順や道具の扱い方の定着度に課題が見られる。	4観点のうち観察・実験の技能が目標値を5ポイント以上下回ったが、他の3観点は、目標値、区の平均とほぼ同程度である。しかし、全国平均と比べると、4観点とも全て5ポイント以上下回っている。	実験・観察の手順や道具の扱い方、また、用語の定着度に課題が見られる。また、試験日に近い単元の定着度は高いものの、離れた単元の定着度は低い傾向が見られる。